

新潟県立巻高等学校同窓会東京支部 会報 No. 2

2025年12月1日

巻高同窓会東京支部 100周年記念総会を終えて

高同窓会東京支部 支部長 宮川 玉城 (S40 卒)

新潟県立巻高等学校は、2026年に創立120周年を迎えます。

母校創立から遅れること19年後の1925年に巻高同窓会東京支部（以下東京支部）は発足しました。そして今年100周年を迎えました。

東京支部100年の歴史については、前東京支部長の中川一氏が、母校百周年記念誌に寄稿された「同窓会東京支部の歴史」に詳しく述べられています。（ご希望の方はお申し出ください）このことは、記念総会当日、大上同窓会長より、ご紹介いただきました。

さて、今回はホテルメトロポリタンエドモントにおいて、およそ70名の参加を得て、巻高同窓会東京支部100周年記念総会を開催しました。

90歳以上の方が3名、間もなく91歳を迎える青木重喜様には乾杯の音頭をとっていただきました。また80歳以上の方も10名ご参加くださいました。ご参加いただいた皆様には、厚くお礼申し上げます。また多くのご厚志を賜りましたことにつきましてもお礼申し上げます。

今回こうして記念すべき日を迎えたのは、世代を超えて繋がる同窓の絆に支えられてきたからに他なりません。改めて、同窓会の意義に思いを致した次第です。

しかしながら、時代の変化とともに、同窓の繋がり方にも大きな変化が生じております。東京支部も例外ではありません。例えば世代構成を見ても明らかであります。東京支部の会員のほとんどが60歳以上で、新たに東京支部に参加していただく方は、ほとんどおりません。従って、会員の高齢化が進み、会員数の減少という状況が続いております。

これまで、こうした状況を打開すべく「新卒業生歓迎会」による会員の底上げやホームページ上で「何時でも同窓会」の実現を目指すなど、いくつかの施策を実施しましたが、期待した成果は得られませんでした。現在も東京支部存続のためにどうすべきか、役員が鳩首、検討を続けています。クラブ活動のOB会、同期会などは活発に開催されておられるところが多数あるとも聞いております。この面では、それぞれの活動を東京支部としてサポートしていくことも一つの対応の仕方ではないかと思います。

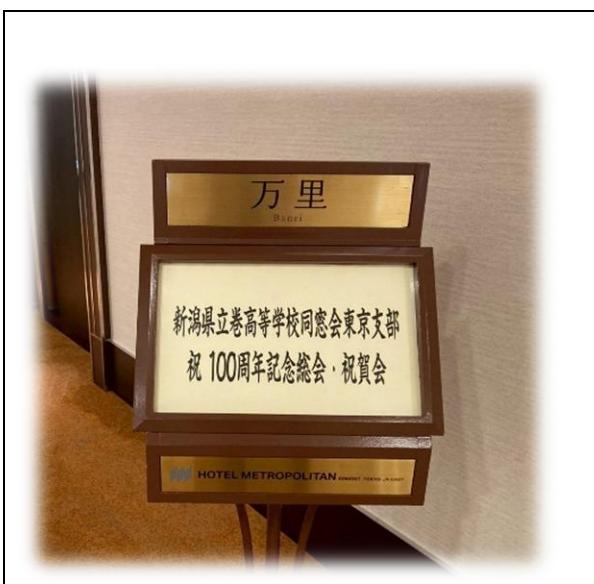
いずれにしましても、巻高同窓会東京支部は、次の世紀に向かってスタートしましたので、同窓会に参加することが、人生の潤いの一助となることを目指し、取り組んでいきたいと思っています。

是非皆様の物心両面にわたるお力添えをお願い申し上げます。

終わりに巻高同窓会東京支部に対する、助言・提言などを寄せいただきたく、お願い申し上げる次第です。



総会・祝賀会スナップ





S29卒 青木重善氏の音頭で「乾杯」

「NANACo ミニコンサート」

- ・愛の歓び
- ・愛の歌
- ・瑠璃色の地球



花束贈呈





C卓の皆様



B卓の皆様



A卓の皆様



D卓の皆様



E卓の皆様



F卓の皆様



G卓の皆様



S48卒 池藤仁市様よりいただきました



皆様のご協力により、新潟県立
巻高等学校同窓会 100周年記念
総会・祝賀会を終えることが出来ま
した。誠にありがとうございました。
また、来年、お会いしましょう！



2025年10月5日(日) ホテルメトロポリタンエドモント「万里」

巻頭の支部長の辞にありましたように、巻高同窓会東京支部に対する、助言・提言などを寄せ
いただけましたら幸いです。

お問い合わせ先は、以下の通りです。

巻高同窓会東京支部事務局連絡先（伊藤比佐代方） SMS : 090-8056-3760

巻高同窓会東京支部支部長（宮川玉城） SMS : 090-9131-3824